

郡上農林事務所の普及活動状況 令和8年7月31日現在

新たな担い手の確保

■担い手確保 「郡上トマトの学校」研修生募集説明会を開催

7月4日、JAめぐみのが運営する就農研修施設「郡上トマトの学校」で令和8年度研修生募集説明会が開催され、市内外から6組9名が参加した。

説明会では、JAから研修内容など学校の概要、市からは補助事業・住居など支援制度の説明が行われ、農業普及課からは、あすなろ農業塾を紹介した。また、トマトの学校や卒業生の圃場の視察も行われ、研修から就農までの流れがイメージできる内容だった。今後、8月に募集を締め切り、9月以降に選考会を実施する計画としている。

農業普及課では、関係機関と連携しながら、今後も担い手の育成・確保を支援していく。



【説明会の様子】

潜在力をフル活用した生産強化

■トルコギキョウ 新たな土壌消毒法を組み合わせた発病抑制の取り組み

郡上市高鷲町のトルコギキョウ栽培では、フザリウム病菌による立枯病をはじめとする土壌病害の発生が課題となっている。本病の対策として、従来から化学農薬による土壌消毒が実施されているが防除効果が不十分であった。

農業普及課では、令和5年度より従来の化学農薬による土壌消毒に加え、有機物が微生物によって分解されるときに生じる還元作用を利用した土壌還元消毒を組み合わせた実証圃場を設置し、5月から定期的に発病株率を調査している。

今後、出荷が終了する9月まで調査を実施し、調査結果を取りまとめて生産者へ情報提供することにより、高品質安定生産に向けた支援を行っていく。



【発病株率調査の様子】